

●施策の方向性案

	番号	発言要旨	対応
子育て分野	1	P2 多様で質の高い保育サービスの展開 「ニーズに合った多様な保育サービス」というような表現にした方が良い。	P2 多様なニーズに対応した質の高い保育サービスの展開 「多様なニーズに対応した」と記載しています。
	2	P2 多様で質の高い保育サービスの展開 「待機児童の解消」をしっかりと明記してほしい。	P2 多様なニーズに対応した質の高い保育サービスの展開 「待機児童解消に向けた保育所などの整備」と記載しています。
	3	P2 多様で質の高い保育サービスの展開 色々な預かり事業を区はやっているが、知らない区民も多いので、文章に記載した方が良い。	P2 多様なニーズに対応した質の高い保育サービスの展開 「いっつき保育、病児・病後児保育」などの一時預かり事業について記載しています。
	4	P2 多様で質の高い保育サービスの展開 「保育士の人材の育成」も文言として入れてもらいたい。	P2 多様なニーズに対応した質の高い保育サービスの展開 「保育士の人材育成により保育の質を確保していく」と記載しています。
	5	P2 多様で質の高い保育サービスの展開 「病児・病後児保育」といった観点も視野に入れてほしい。	P2 多様なニーズに対応した質の高い保育サービスの展開 「病児・病後児保育」と記載しています。
	6	P2 多様で質の高い保育サービスの展開 多様なニーズに対応する保育という表現で検討してきている。「サービス」として一言でまとめるのはどうか。「多様なニーズ」に対応するといったような表現にすべきではないか。	P2 多様なニーズに対応した質の高い保育サービスの展開 施策名を「多様なニーズに対応した質の高い保育サービスの展開」と記載しています。
	7	P2 配慮を要する子供・若者や家庭への支援 「障害を抱える」という表現を「障害のある」に変えた方が良い。	P2 配慮を要する子供・若者や家庭への支援 「障害のある子供」と記載しています。
	8	P2 子育て分野全般 「中高生を含めた子供の居場所づくり」にしっかりと対応してもらいたい。	P3 教育環境の整備と児童・生徒の居場所づくり 施策名を「教育環境の整備と児童・生徒の居場所づくり」と記載しています。
教育分野	9	P3 未来を担う子供達を育む教育の推進 基本目標に「創造性豊かに、たくましく生きる力を身に付けられる教育を推進」と記載されているが、施策の方向性からはそれが見えない。	P3 未来を担う子供を育む教育の推進 「創造性豊かに、たくましく生きる力を身に付けられる教育を推進」するために、必要な施策の方向性を記載しています。
	10	P3 未来を担う子供達を育む教育の推進 「健やかな身体づくり」という表現を「健やかな心と体」に変えた方が良い。	P3 未来を担う子供を育む教育の推進 「豊かな心と健やかな体の育成」と記載しています。
	11	P3 児童・生徒の状況に応じた支援の充実 いじめの早期発見のあとに対応が必要であり、「指導援助」といった言葉を入れてはどうか。	P3 児童・生徒の状況に応じた支援の充実 「解決に向けた指導・援助」と記載しています。
	12	P3 児童・生徒の状況に応じた支援の充実 「外国人」と「特別な教育的配慮を必要とする方」を一緒にするべきではない。別々に項目を建てるべき。また、「いじめ」も別にすべき。	P3 児童・生徒の状況に応じた支援の充実 外国人や特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒などについては、それぞれ対応は異なりますが、様々な環境にある子供の教育環境を整えていく施策として「児童・生徒の状況に応じた支援の充実」と記載しています。
	13	P3 教育環境の整備 情報通信技術を活用した教育、スキルの向上に繋げていけないか。	P3 未来を担う子供を育む教育の推進 「情報通信技術に関する理解を深めるための教育」と記載しています。
	14	P3 教育分野全般 「放課後の子供の居場所」を教育分野の施策として打ち出すべきだ。	P2 教育環境の整備と放課後の居場所づくり 施策名を「教育環境の整備と児童・生徒の居場所づくり」と記載しています。
	15	P3 教育分野全般 基本目標に「地域」と記載されているので、この分野にも「地域」といった言葉を入れた方が良い。	P3 教育分野全般 「教育環境の整備」のなかで「保護者や地域の人々と開かれた学校づくり」と記載しています。
	16	P3 教育分野全般 読書活動が色々なところで触れられているが、少し細かい気がする。読書活動がなぜこの目的に沿うのか分からない。	P3 教育分野全般 「読書活動」は基本目標の実現に向けて必要な取り組みであるため記載しています。
生涯学習分野	17	P4 生涯学習分野全般 「学んだ成果を活かせる生涯学習の推進」の1、2行目の内容は、生涯学習環境の整備と重複している。それを生涯学習環境の整備に加え、1つ目の施策に位置づけ、2つ目の施策を「学んだ成果を活かせる生涯学習の推進」にしたらどうか。	P4 生涯学習環境の整備 P4 学習成果の活用促進 「生涯学習環境の整備」にハード・ソフト両面の整備について記載し、成果の活用については「学習成果の活用促進」に記載しています。
	18	P4 生涯学習分野全般 スポーツの施策が重複している。最初の施策でハードもソフトも含めたスポーツ環境の整備とし、次の施策で、障害者向けのスポーツ施策などにしてはどうか。	P4 スポーツができる場の充実 P4 誰もがスポーツに親しむ機会の提供 障害者スポーツについてを特筆するのではなく「スポーツができる場の充実」のなかでハードについて、「誰もがスポーツに親しむ機会の提供」のなかで、ソフトについて記載をするように整理しました。

	番号	発言要旨		対応	
健康分野	19	P5 地域での健康づくりの推進	健康づくりに取り組める「通いの場」をしっかりとつってほしい。	P5 地域での健康づくりの推進	「通いの場づくり」と記載しています。
	20	P6 高齢者の生きがいがづくりと介護予防の推進	地域の人々の心の交流や健康を維持できる場所を提供する旨記載すべき。	P5 地域での健康づくりの推進	「通いの場づくり」と記載しています。
	21	P6 安心できる地域医療体制の充実	在宅医療のことが記載されているが、在宅医療を記載するなら、7ページの「高齢者が安心して地域で暮らし続けられる環境づくり」と合体させるべき。	P6 安心できる地域医療体制の充実 P7 高齢者が安心して地域で暮らし続けられる環境づくり	基本目標2を実現するために、「安心できる地域医療体制の充実」と「高齢者が安心して地域で暮らし続けられる環境づくり」を施策としています。
	22	P6 安心できる地域医療体制の充実	「かかりつけ医の定着促進」が分からない。	P6 安心できる地域医療体制の充実	かかりつけ医の定着促進を図ることが、区民が安心できる地域医療体制につながるものと考えています。
福祉分野	23	P6 地域福祉の支援体制の充実	地域包括ケアシステムが地域福祉の支援体制の充実に入っているというのは間違い。地域包括ケアシステムは福祉だけでなく、住まい等も含めたものをいう。ここにいれるべきものではない。	P6 地域福祉の支援体制の充実	「地域福祉の支援体制の充実」を進めていくためには、地域包括ケアシステムの機能を強化していくことが必要であるため記載しています。また、地域包括ケアシステムに関する取り組みについては、「高齢者の生きがいがづくりと介護予防の推進」や「高齢者が安心して地域で暮らし続けられる環境づくり」にも記載しています。
	24	P7 障害者の地域生活を支える環境づくり	障害者の移動支援を特筆した理由は。	P7 障害者の地域生活を支える環境づくり	「障害者の地域生活を支える環境づくり」においては、「障害者の移動支援」も重要な取り組みであるため記載しています。
	25	P7 障害者の自立と社会参加の促進	就労が自立という概念はかなり前の話。妥当ではない。	P7 障害者の自立と社会参加の促進	現在においても、就労は障害者の自立に向けた重要な要素の一つであると考えています。
	26	P7 障害者の自立と社会参加の促進	「障害の有無にかかわらず文化やスポーツに親しめる環境の整備」が生涯学習分野の「誰もがスポーツに親しむ機会の提供」と重複している。	P7 障害者の自立と社会参加の促進	「文化やスポーツに親しめる環境の整備」を「様々な活動に参加できる環境整備」に変更しています。
	27	P6・P7 福祉分野全般	福祉施設のハードの部分が触れられていない印象がある。	P7 高齢者が安心して地域で暮らし続けられる環境づくり	高齢者については、「高齢者が安心して地域で暮らし続けられる環境づくり」の施策で、「高齢者の居住の安定確保に向けた支援や、施設サービスの充実」について記載しています。また、障害者については「障害者の地域生活を支える環境づくり」の施策で「グループホームの整備促進」について記載しています。
	28	P6・P7 福祉分野全般	地域包括ケアシステムについて記載すべき。	P6 地域福祉の支援体制の充実	「地域福祉の支援体制の充実」の施策で、「地域包括ケアシステムを強化」と記載しています。
	29	P6・P7 福祉分野全般	老老介護の話も入れてほしい。	P7 高齢者が安心して地域で暮らし続けられる環境づくり	「高齢者が安心して地域で暮らし続けられる環境づくり」の施策で、老老介護の問題を踏まえ、必要な取り組みの1つとして「高齢者の見守り体制の充実」と記載しています。
	30	P6・P7 福祉分野全般	医療・福祉の連携が重要だと議論してきたので、それを表現してほしい。	P7 高齢者が安心して地域で暮らし続けられる環境づくり	「高齢者が安心して地域で暮らし続けられる環境づくり」の施策で、医療・福祉の連携を踏まえ「医療・介護の更なる連携」と記載しています。
	31	P6・P7 福祉分野全般	高齢者と障害者の住まいについて、福祉分野に位置づけられていない。住まいは福祉の基礎であり、施策として記載すべきではないか。	P7 高齢者が安心して地域で暮らし続けられる環境づくり P7 障害者の地域生活を支える環境づくり	高齢者や障害者の地域生活を支えるといった観点から、住まいや医療、福祉人材の育成などの取り組みをまとめ、施策として「高齢者が安心して地域で暮らし続けられる環境づくり」や「障害者の地域生活を支える環境づくり」を記載しています。

	番号	発言要旨		対応	
文化分野	32	P8 文化資源の保存・継承・活用	歴史や文化を学ぶ機会の提供より、学ぶ興味をもたせる機会の提供の方が良い。	P8 文化資源の保存・継承・活用	「台東区の歴史や文化への興味を高めるとともに」と記載しています。
	33	P8 文化を創造する人材の支援、育成	人材だけでなく、クリエイティブな文化を作っていく施策をつくるべき。	P8 文化を創造する人材の支援、育成	「新たな文化の創造につなげていくために」と記載しています。
	34	P8 文化を創造する人材の支援、育成	具体的な内容を示した方が良い。	P8 文化を創造する人材の支援、育成	「若手を中心とした芸術家や、先駆的な芸術文化活動の支援・育成」と記載しています。
	35	P8 文化情報の発信	区の文化の魅力を、区ならではの魅力ある文化などに表現してもらいたい。	P8 文化情報の発信	「区ならではの文化の魅力」と記載しています。
	36	P8 文化情報の発信	具体的な内容を示した方が良い。	P8 文化情報の発信	文化の魅力の発信に加え、「文化にかかわる様々な取り組みの積極的な発信」について記載しています。
	37	P8 文化分野全般	内容は良いが順序として、魅力を作ってから発信の方が流れとして自然ではないか。順番を考えてもらいたい。	P8 文化分野全般	施策の並びを変更しています。
産業分野	38	P9 産業を支える人材の確保・育成	第3章の持続可能な行財政運営に記載されているように、ワークライフバランスを明記した方が良い。	P9 産業を支える人材の確保・育成	「ワーク・ライフ・バランスの促進」と記載しています。
	39	P9 ものづくりを支える産業集積の維持・発展	新たな産業、事業を行う「新たな企業の誘致」という視点が必要。	P9 ものづくりを支える産業集積の維持・発展	「企業誘致」と記載しています。
	40	P9 商店街振興による魅力ある地域づくりの推進	商店街に面する集合住宅の1階は、商店をつくる、空き家活用のアトリエやクリエイターを面的に展開するなど、街づくりとの関係での切り口が押し出せないか。	P9 商店街振興による魅力ある地域づくりの推進	「商店街の個店の魅力向上や商店街を核とした地域経済の活性化に向けた取り組みを支援していく」と記載しています。個別事業の提案につきましては、別途検討していきます。
観光分野	41	P10 戦略的なプロモーションの展開	たくさんあるガイドブックを精査し、ニーズの把握をより戦略的に行う必要がある。	P10 戦略的なプロモーションの展開	「多様な手法を活用して観光客のニーズを把握し」と記載しています。
	42	P10 誰もが安心して快適に観光できる環境の整備	高齢者や障害者、外国人などに「子育て世帯・子供」を記載してほしい。	P10 誰もが安心して快適に観光できる環境の整備	「子供から高齢者」と記載しています。
	43	P10 観光分野全般	内容は良いが順序として、魅力を作ってからプロモーションの方が流れとして自然ではないか。順番を考えてもらいたい。	P10 観光分野全般	施策の並びを変更しています。
	44	P10 観光分野全般	量から質への転換が必要なので、プロモーションの展開の順番を後ろに下げ、質を高めるにはどうすれば良いのかを書く必要がある	P10 観光分野全般	施策の並びを変更しています。また、観光分野の4つの施策に取り組むことで、基本目標に記載した「持続的に発展し続ける質の高い観光地の形成」が図られると認識しております。
基本目標3	45	P8, 9, 10 基本目標3全体	産業、文化、観光の連携をどのように連携するのかもう少し書いた方が良い。	P8 文化の力による産業と観光の振興	「多彩な文化を活用した体験型観光」と記載しています。
まちづくり分野	46	P11 地域の特性を活かしたまちづくりの推進	都市更新が分かるような書き方に修正してもらいたい。	P11 地域の特性を活かしたまちづくりの推進	「都市更新」とは記載しておりませんが、その考え方を踏まえ、「地域の特性を活かした魅力あるにぎわいの拠点づくり」と記載しています。
	47	P11 まちづくり分野全般	まちづくりにコミュニティという考え方をに入れてほしい。	P11 まちづくり分野全般	区民主体のまちづくりを進めることで、区民一人ひとりが地域に愛着を持ち、長く住み続けることにつながり、ひいては地域コミュニティの形成の一助になるものと認識しています。
	48	P11 まちづくり分野全般	歩けるまちづくりといった考え方が重要である。	P11 ユニバーサルデザインのまちづくり	歩けるまちづくりといった考え方も踏まえ、「ユニバーサルデザインのまちづくりの推進」を施策としています。

	番号	発言要旨		対応	
防災防犯分野	49	P12 家庭や地域における防災対策の推進	自助、共助、公助に係る内容は記載されているが、それが分かるような書き方の整理が必要。	P12 家庭や地域における防災対策の推進	「家庭や地域における防災対策の推進」の記載を見直しています。
	50	P12 避難者・帰宅困難者対策	生活復興に向けた対策は、避難者、帰宅困難者対策より時間軸が長いので、分けた方が良い	P12 避難者・帰宅困難者対策と生活復興対策	「避難者・帰宅困難者対策」の記載を見直すとともに、施策名を「避難者・帰宅困難者対策と生活復興対策」に修正しています。
	51	P12 地域防犯力の向上と安全安心な消費生活の確保	子供達へのサイバーセキュリティ教育を明記してもらいたい。	P3 未来を担う子供を育む教育の推進	「情報通信技術に関する理解を深めるための教育」と記載しています。
環境分野	52	P13 環境分野全般	持続可能というキーワードが必要ではないか。	P13 低炭素社会の推進	「持続可能な社会の実現を目指して」と記載しています。
多様な主体と連携した区政運営の推進	53	P14 人権の尊重	子供達の成長が区を支えるので、子供の学びの視点を加えてもらいたい。	P14 人権の尊重	「子供」とは記載していませんが、子供から高齢者まで全ての人を対象に啓発に取り組んでいきます。
	54	P14 人権の尊重	多様性の理解だけでなく、自ら行動できるような啓発と推進を図る内容を加えてもらいたい。	P14 人権の尊重	「行動に結びつけていくための啓発などを推進していく」と記載しています。
	55	P14 多文化共生の推進	異文化理解の促進だけでなく、協働の機会の推進を加えてもらいたい。	P14 多文化共生の推進	「外国人の地域社会への参画」と記載しています。
	56	P15 国内外の都市・地域との連携	何のために連携するかが書かれていないので具体的に記載しても良い。	P15 国内外の都市・地域との連携	「防災や産業など様々な分野における連携」と記載しています。
	57	P15 効果的・効率的な行財政運営の推進	情報通信技術の活用を業務改善だけでなく、区民サービスにも活用と記載できるか検討してもらいたい。	P15 効果的・効率的な行財政運営の推進	「情報通信技術を活用した業務の改善や区民サービスの向上を図る」と記載しています。
	58	P15 効果的・効率的な行財政運営の推進	ICTを導入するには、業務のやり方を見直す視点が必要。	P15 効果的・効率的な行財政運営の推進	「情報通信技術を活用した業務の改善」と記載しています。
	59	P15 いきいきと働ける環境づくり	行政組織文化を変えていく内容があると良い。	P15 いきいきと働ける環境づくり	「いきいきと働ける環境づくり」の施策に記載した取り組みにより、組織の活性化を図っていきます。
	60	P15 区有施設の総合的・計画的な管理と区有地の活用	ファシリティマネジメントは「適正化」という言葉で表していると思うが、今後もしっかりと検討してもらいたい。	P15 区有施設の総合的・計画的な管理と区有地の活用	「人口動向や区民ニーズなどの状況を踏まえ、中長期的な視点からの施設の再編」と記載しています。
61	P15 区有施設の総合的・計画的な管理と区有地の活用	維持保全と適正化は並列ではない。適正化の判断がまずあって、維持・保全・撤去の手段がでてくる。戦略をたてることを主軸にするべきなので、極端に言えば、適正化だけあれば、他は消しても良い。	P15 区有施設の総合的・計画的な管理と区有地の活用	「計画的な維持保全」と「中長期視点からの再編」を基本方針としており、その考えた方を踏まえた記載としています。また、インフラ施設の維持・更新に撤去を追記しています。	
62	P14・15 第3章全般	区が地域福祉を支える人材を育成・確保し、地域や多様な主体を元気づけ、活性化して区政を推進するという方向性を入れるべき。	全体	子育て分野や福祉分野等、様々な分野において人材の育成・確保の取り組みを記載しています。	
全体	63	全体	「など」ではなく、具体的に記載した方が良いところもあるのではないか。	全体	施策には主な取り組みを記載しており、施策に広がりを持たせるため「など」と記載しています。
	64	全体	「環境」という言葉は、ハードのほか「機会」などのソフトも含まれると思うが、ハードのみの場合でも用いているので整理してほしい。	全体	ハードのみの取り組みを想定している場合は、「環境」という言葉を使用しておりません。

●基本構想

番号	発言要旨		対応	
1	基本構想 P3	基本目標の「子供からお年寄り」という表現を「子供から高齢者」に変更した方が良いのではないか。	基本構想 P3	「子供から高齢者」に記載を変更しています。
2	基本構想 P3	基本目標名を「あらゆる世代」と表現すると、生涯学習分野のことしか記載していないように感じてしまうので、「あらゆる人々」とか「誰もが」という表現にしたらどうか。	基本構想 P3	これまでの議論を踏まえ「あらゆる世代」と表現しています。